

事業所名

スマートキッズジュニア浦安

支援プログラム

作成日

2025年

2月

13日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		12時0分	から	20時0分	まで	
		送迎実施の有無		あり	なし	
支援内容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	利用者を中心とした自身で取り組むトイレトレーニングの課題 災害時の対応を身に着ける 就労・自立に向けてのPC文字入力や音声入力の練習課題		危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動(浦安教室ルールクイズ、この前になにができるかな?等) 就労のための作業練習(道具の仕分け、部品の組み立て、箱の組み立て、宛名貼り)		
	運動・感覚	指導員の動きや他者の行動の理解と模倣(指・身体の動き)の課題 音を感じ音楽に合わせて身体を動かす課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題		模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(カレンダー製作等) 音楽と触れ合いながら身体的、感覚的感覚を入れる(リトミック等)。		
	認知・行動	見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題 金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 物の概念(長さ・大きさ等)の獲得に関わる課題		金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 興味・関心の幅を広げるための活動(日本の文化に親しむ(書初め・正月遊び等)) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、挨拶神経衰弱等)		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 文字や文章の読み書きの理解のための課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(顔き、拍手、OKサインの活用等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう)		
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 集団への参加や集団での指示理解のための課題 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題		自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、アサーション等) 複数の利用者同士の適切な関わり方の理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな)		
家族支援		送迎時やオンラインでの面談を通しきょうだいへの関わりや、保護者のきょうだいへの関わりについて相談する時間を定期的に設定する。 保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。		移行支援		当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支えり組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。
地域支援・地域連携		関係機関がそれぞれで得られた情報を共有すると共に役割分担を行い、当事業所でできる支援について明確に示し、利用者ひいては家族にとつてのQOL向上のための支援や将来に向けた対策について提案する。 各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携していく。		職員の質の向上		経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(お買い物活動、科学館の見学)、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、保護者会、進級・卒業式、その他				